

北九上総経第 994 号
令和 7 年 3 月 24 日

北九州市上下水道事業審議会

会長 様

北九州市長 武内 和久

北九州市上下水道事業 中期経営計画の策定について（諮問）

本市の上下水道事業は、「お客さまに信頼される上下水道～安全・安心な水環境を次世代へ～」を基本理念とし、お客さまにいつでも安心して飲むことができる水を届けるとともに、災害時においても市民生活を支えることを使命とし、各種施策に取り組んでまいりました。

現在の上下水道事業を取り巻く環境は、人口減少や水需要の低下などに伴う収入の減少が見込まれる一方、施設の老朽化への対応や災害対策、技術の継承といったさまざまな課題に取り組まなければならない、大変厳しい状況に置かれています。また、能登半島地震による上下水道施設の被害状況や、埼玉県八潮市を始めとした各地で相次いでいる施設の老朽化によるものと考えられる事故を踏まえ、上下水道施設の強靱化にも取り組む必要があります。

そのような中、令和 3 年 3 月に策定した北九州市上下水道事業中期経営計画 2025 の計画期間が令和 7 年度末までであるため、計画期間を令和 8 年度から令和 12 年度とする次期中期経営計画を策定する必要があります。

そこで、北九州市上下水道事業審議会規則第 2 条の規定に基づき、次期中期経営計画の策定に当たり、事業計画や財政計画はどうあるべきかについて調査審議し、答申することを求めます。